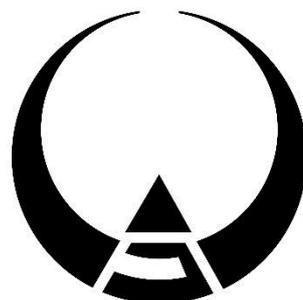
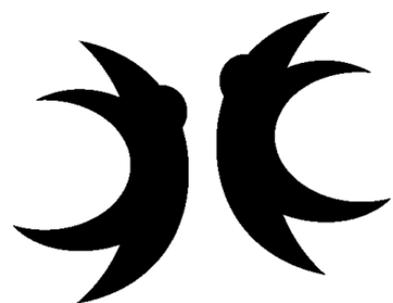


八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン (平成27年度～平成31年度)



北杜市・富士見町・原村

策定	平成27年8月31日
第1回変更	平成28年3月7日
第2回変更	平成29年2月22日

目 次

第1章	八ヶ岳定住自立圏の概要	1
	1 定住自立圏の名称	1
	2 定住自立圏の構成市町村	1
	3 定住自立圏の目的・役割	1
	4 定住自立圏の政策分野	2
	5 構成市町村の概況	3
第2章	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョンの概要	4
	1 共生ビジョンの目的	4
	2 共生ビジョンの計画期間	4
第3章	八ヶ岳定住自立圏の将来像	5
	1 将来人口推計	5
	2 定住自立圏の将来像	7
第4章	八ヶ岳定住自立圏の基本的事項	8
	1 基本方針	8
	2 事務執行にあたっての協力・費用負担	8
	3 協定の変更・廃止	8
	4 疑義の解決	8
第5章	定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組	9
	1 生活機能の強化	9
	2 結びつきやネットワークの強化	27
	3 圏域マネジメント能力の強化	35
第6章	<u>定住自立圏における具体的取組の実施体制</u>	<u>36</u>
資料編	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱	38
	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿	40
	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会等審議経過	41

第1章 八ヶ岳定住自立圏の概要

1 定住自立圏の名称

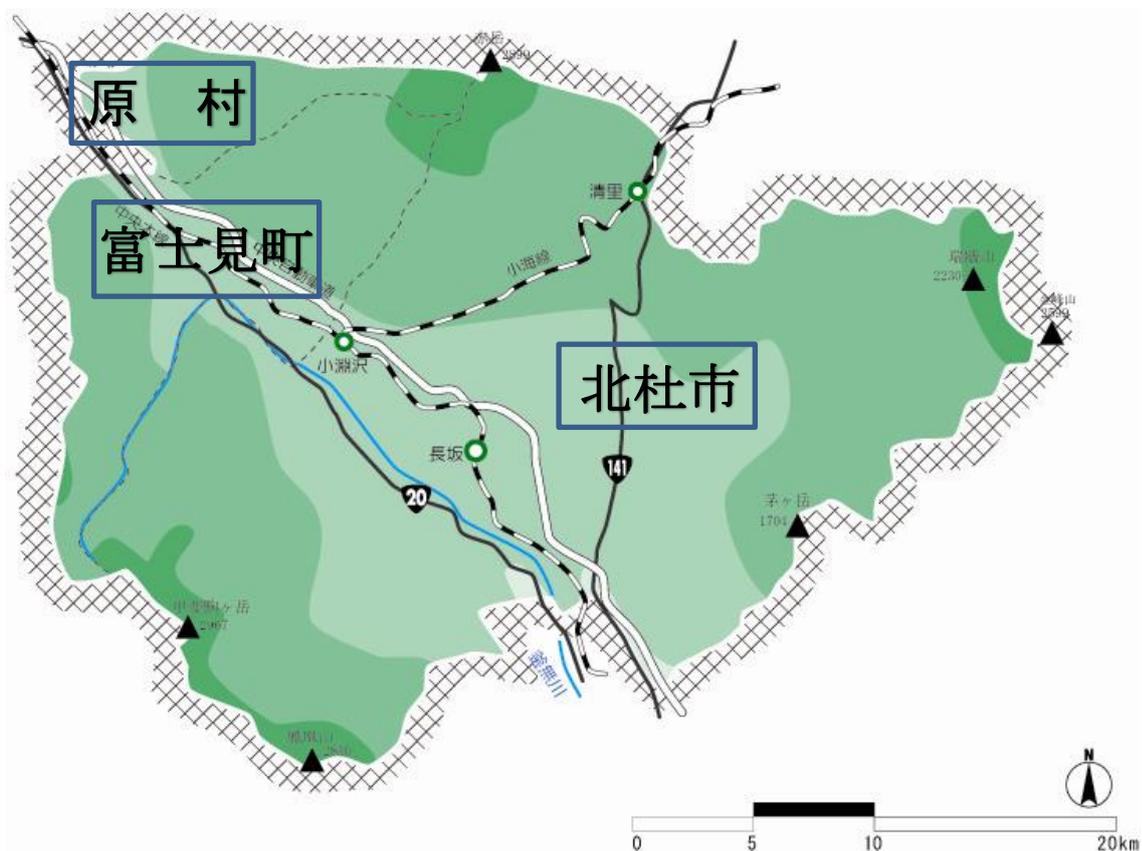
八ヶ岳定住自立圏

2 定住自立圏の構成市町村

山梨県北杜市（中心市）、長野県富士見町、長野県原村（構成町村）

3 定住自立圏の目的・役割

少子化による人口減少と高齢化社会を迎えている中で、八ヶ岳定住自立圏域が将来にわたって安心して暮らすことのできる地域として、圏域の市町村が相互に連携と協力を行い、圏域全体の生活機能の強化等に取り組むことにより、八ヶ岳圏域の定住人口の確保と地域の活性化を図ります。



4 定住自立圏の政策分野

北杜市と富士見町及び原村との間で締結した、「八ヶ岳定住自立圏の形成に関する協定書」に基づき、構成市町村が相互に連携・協力して、「生活機能の強化」、「結びつきやネットワークの強化」及び「圏域マネジメント能力の強化」の政策分野に取り組めます。

政策分野	施策分野	取組内容
生活機能の強化	観光振興	八ヶ岳観光圏事業を拡充し、国内外からの観光客の誘客 南アルプスユネスコエコパーク事業への取組 (※)
	農林水産業振興	安心・安全な農林水産物の生産拡大への取組
	鳥獣害防止策	農林業被害防止のための鳥獣害防止対策への取組
	地産地消・販路拡大	地産地消及び販路拡大の推進
	図書館の相互利用等	各図書館の相互利用等の促進
	生涯学習の充実	施設の相互利用、イベント情報の共有
	文化財の保護、活用	文化財の保護、活用の推進
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	バス路線等の維持・確保対策への取組 (※)
	結婚支援	若者への出会いの機会の提供、結婚支援への取組
	移住及び交流促進	就労、住宅、空き家に関する情報の提供及び発信への取組、住宅取得者の経済的負担軽減への取組
	道路の整備	観光ルート等の道路整備への取組
圏域マネジメント能力の強化	市町村間職員研修	圏域内職員の資質向上及び圏域マネジメント能力向上に向けた研修開催

(※) 原村とは、協定を締結していない取組項目です。

5 構成市町村の概況

山梨県北杜市、長野県富士見町及び原村は、山梨県と長野県にまたがる日本百名山の一つである八ヶ岳の主峰赤岳より南側に広がる地域で、県境を挟んで東側に北杜市、西側に富士見町及び原村が位置します。

圏域は、八ヶ岳南麓の豊かな自然環境と長い日照時間、夏季は冷涼の気候、八ヶ岳や南アルプスの眺望、富士山が遠望される優れた景観を有しており、約30分以内の移動で標高差が1,000mにもなる変化のある地形のため、多くの花や紅葉を長い間楽しめるほか、豊富な種類の農産物の収穫が出来ます。

また、古くは約5,000年前、「井戸尻文化」といわれる共通の文化が栄え、縄文銀座ともいわれるほど多くの人々が住み、素晴らしい造形の土器をつくり栄えた地域でした。現在は、別荘戸数が定住戸数とほぼ同じくらい存在し、今も癒しを求め別荘の建設が進んでいます。

さらに、美術館や工房等も数多く点在するなど、芸術家等が創造の地として移り住み工房等を開いている状況は、縄文時代から現在に至るまで、この圏域が「住んでよし」を体現している証といえます。

なお、この圏域は、県境を挟んだ地域ではありますが、構成市町村の地理的、歴史的な繋がりは深く、日常の買い物、医療、通勤、レジャーなどの点で圏域内の住民生活に関する結びつきは強く、従来から生活圏を形成しています。

平成18年に、隣接する北杜市と富士見町は広域消防相互応援協定を結んだほか、平成20年には、行政や観光協会等団体等で環境美化や自然保護を目的として、南北八ヶ岳保護管理運営協議会（北杜市、富士見町、原村を含む10市町村）を設立し活動を行っています。

また、平成22年には、全国に先がけ3市町村を圏域とする「八ヶ岳観光圏」として、国土交通省（観光庁）から認定され、「日本の顔」である八ヶ岳を、日本を代表する観光地としてさらに充実させるため、民間レベルでの連携が主体となり観光振興に取り組んでいます。

第2章 八ヶ岳定住自立圏共生ビジョンの概要

1 共生ビジョンの目的

安心かつ快適に暮らせる定住自立圏の形成に向け、構成市町村で締結した「八ヶ岳定住自立圏の形成に関する協定書」に基づき、推進する具体的な取組等を示すと共に、八ヶ岳定住自立圏が目指す将来像を「定住自立圏共生ビジョン」として定めます。

2 共生ビジョンの計画期間

共生ビジョンの計画期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間とします。

ただし、協定を締結していない施策分野や取組項目においても、連携することにより効果的・効率的な施策展開が図られるものについては、追加で協定を締結し、定住自立圏において取り組んでいきます。

第3章 八ヶ岳定住自立圏の将来像

1 将来人口推計

平成27年国勢調査における、八ヶ岳定住自立圏域（3市町村合計）の総人口は67,170人で、平成22年国勢調査の69,879人と比較して2,709人減少しました。

また、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、平成52年には圏域の総人口は、51,547人まで減少する見通しで、特に高齢化の進展が顕著に現れます。

この推計は八ヶ岳圏域に限るものではなく、日本の総人口は今後急速に減少することが見込まれています。三大都市圏も地方圏も人口が減少していくという「過密なき過疎」の時代の到来にあって、特に地方圏の将来は極めて厳しい状況になることが予想されます。

少子化による人口減少と高齢化が進むと、核家族化、空き家増加、地域経済減退、耕作放棄地増加や医療・介護サービス低下などが懸念されます。

その中で、移住・定住促進などの人口減少対策や結婚支援、地域公共交通の確保といった課題は、圏域市町村が抱える共通の課題であります。

表1 圏域の人口（H27国勢調査）（単位：人、％）

	総数 (比率)		年少人口 (比率)		生産年齢人口 (比率)		老年人口 (比率)	
	人	％	人	％	人	％	人	％
北杜市	45,111	67.2	4,613	10.2	23,995	53.2	16,457	36.5
富士見町	14,493	21.6	1,803	12.4	7,786	53.7	4,871	33.6
原村	7,566	11.3	976	12.9	4,141	54.7	2,448	32.4
計	67,170	100.0	7,392	-	35,922	-	23,776	-

※年少人口：0歳～14歳、生産年齢人口：15歳～64歳、老年人口：65歳～

※比率：3市町村全体による構成比及び各市町村の年代別構成比

※平成27年国勢調査の総数には年齢等の不詳が含まれます。

表2 圏域の推計人口（H52社人研推計）

（単位：人、％）

	総数 (比率)		年少人口 (比率)		生産年齢人口 (比率)		老年人口 (比率)	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
北杜市	32,880	63.8	2,459	7.5	14,457	44.0	15,964	48.5
富士見町	12,237	23.7	1,309	10.7	5,917	48.4	5,011	40.9
原 村	6,430	12.5	686	10.7	3,131	48.7	2,613	40.6
計	51,547	100.0	4,454	-	23,505	-	23,588	-

※年少人口：0歳～14歳、生産年齢人口：15歳～64歳、老年人口：65歳～

※比率：3市町村全体による構成比及び各市町村の年代別構成比

※社人研：国立社会保障・人口問題研究所の推計

2 定住自立圏の将来像

北杜市、富士見町及び原村において、安心して暮らせる地域として「八ヶ岳定住自立圏」を形成し、構成市町村が互いに連携・協力しながら役割分担をして生活機能の充実や経済基盤の強化を図るとともに、行政と圏域の住民や団体等が協働して圏域の自然、歴史、文化を再考し、その魅力を活かし、高めていくことが必要です。

また、公共サービスに対する住民ニーズが高度化、多様化、複雑化しており、自主的かつ自立的で、持続可能な行政運営も求められています。

このことから、圏域の地域経済を活性化させるとともに、地方分権にふさわしい安定した社会空間を創出することで、安全・安心な生活を送れる社会の実現を目指し、誰もが住み続けたいと思える魅力あふれる圏域を創造していきます。

さらに、圏域からの人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民に対し、それぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供することで、圏域への人の流れを創出していきます。

一方、北杜市、富士見町及び原村それぞれの市町村において、平成27年度に策定した総合戦略では、「企業誘致」や「産業振興」により働く場を確保することにより、若者の転出を抑制し、転入を促進していきます。また、「子育て施策の推進」により、安心して結婚・妊娠・出産・子育てできるような環境を作り、出生率の上昇にも取り組んでいきます。

これにより、圏域として、平成52年に人口約62,000人（北杜市40,000人、富士見町14,823人、原村7,020人）を目指すこととしています。

第4章 八ヶ岳定住自立圏の基本的事項

八ヶ岳定住自立圏の形成に関する協定書において、定住自立圏に関する基本的事項を次のとおり定めています。

1 基本方針

中心市と構成町村は、定住自立圏を形成するにあたり、相互に連携を図り、共同し、又は補完しあいます。

2 事務執行に当たっての協力・費用負担

(1) 中心市と構成町村は相互に役割を分担し、協力して事務の執行に当たります。

(2) 必要な費用が生じるときは、相互の受益の程度等を勘案し、当該費用を負担します。

(3) 事務の執行・費用の負担に関し必要な事項は、必要に応じて中心市と構成町村が協議して定めることとします。

3 協定の変更・廃止

(1) 協定の規定を変更しようとする場合は、中心市と構成町村が協議の上、あらかじめ議会の議決を得ることとします。

(2) 協定を廃止しようとする場合は、あらかじめ議会の議決を経た上でその旨を他方に通告するものとしします。

4 疑義の解決

協定に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、中心市と構成町村が協議して定めることとします。

第5章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

定住自立圏の形成に関する協定に基づいて取り組む事業については、次のとおりです。なお、関係市町村の役割欄の甲は中心市、乙は構成町村です。

※事業費は、平成28年度は決算見込額、平成29年度以降は事業予定額。

1 生活機能の強化に係わる政策分野

項目	1. 産業振興 ア 観光振興の推進
取組内容	観光振興による圏域の活性化を図るため、八ヶ岳観光圏事業を拡充し、国内外からの観光誘客に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、広域観光ルートの設定やインバウンド対策事業等、八ヶ岳観光圏事業の拡充に取り組む。

事業名	八ヶ岳観光圏支援事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	「住んでよし、訪れてよし」の選ばれる観光地域づくりを目指し、(一社)八ヶ岳ツーリズムマネジメントへ支援を行う。 また、人材育成や地域資源の発掘・磨き上げ、観光客へのニーズ対応等を同法人と連携して実施することにより、質及び価値の向上を行い誘客を図る。						
事業効果	八ヶ岳観光圏エリアへの観光誘客及び観光消費額の増加が図られる。						
導入可能な補助事業等	観光地域づくりブランド確立支援事業等						
事業費(千円)	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合計
	北杜市	16,573	23,269	21,700	25,500	25,500	112,542
	富士見町	14,791	20,996	15,000	3,500	3,500	57,787
	原村	2,700	9,625	6,003	1,500	1,500	21,328
	合計	34,064	53,890	42,703	30,500	30,500	191,657

事業名	2次交通整備事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	バス等の2次交通の整備や支援により、エリア内の交通網を充実させ、住民や観光客等の利便性の向上を図る。						
事業効果	エリアへの観光誘客及び観光消費額の増加が図られる。 また、整備により利便性が向上し、移住定住が促進される。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合計
	北杜市	0	<u>20,000</u>	<u>20,000</u>	22,169	22,169	<u>84,338</u>
	富士見町	0	650	650	650	650	2,600
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	<u>20,650</u>	<u>20,650</u>	22,819	22,819	<u>86,938</u>
備 考							

事業名	道の駅こぶちさわ（観光案内所）駐車場整備事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	八ヶ岳観光圏の玄関口である小淵沢 I C に程近く、公営の観光案内所を有する「道の駅こぶちさわ」において、現状で不足している駐車場を拡張する。						
事業効果	八ヶ岳観光圏の総合窓口である「道の駅こぶちさわ」の集客力を強化することにより、八ヶ岳観光圏全体の入り込み客数の増加や、ひいては移住定住促進に繋がる。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合計
	北杜市	3,337	<u>117,782</u>	<u>706</u>	<u>706</u>	<u>706</u>	<u>123,237</u>
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合計	3,337	<u>117,782</u>	<u>706</u>	<u>706</u>	<u>706</u>	<u>123,237</u>
備 考							

事業名	小淵沢駅周辺駐車場整備事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	小淵沢駅は、特急列車が停車する駅であり、八ヶ岳観光圏の玄関口として重要な役割を担っている。現在、駅舎改築・駅前広場の整備中であるが、完成後は利用者の増加が予想されることから、駅周辺に駐車場を整備する。						
事業効果	駐車場を整備することにより、車利用客への対応や買い物を楽しむ環境の改善が図られる。 また、観光圏へのアクセスの改善、交流の場の創出が図られる。						
導入可能な補助事業等	社会資本整備総合交付金						
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合計
	北杜市	0	0	0	2,000	28,000	30,000
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	2,000	28,000	30,000
備考							

項 目	1. 産業振興 ア 観光振興の推進
取組内容	観光振興による圏域の活性化を図るため、南アルプスユネスコエコパーク事業に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、観光振興による圏域の活性化を図るため、南アルプスユネスコエコパークに関する情報等の共有及び共同事業を行う。

事業名	南アルプスユネスコエコパーク推進事業						
関係市町村	北杜市、富士見町						
事業概要	南アルプスユネスコエコパークの保全と活用を推進するため、エリア内の環境保全、環境整備、地域の魅力・資源の発掘等により、情報発信と受入環境整備を図り、人と自然と文化が共生する地域づくりを推進する。						
事業効果	南アルプスユネスコエコパークエリア内への観光誘客と観光消費額の増加が図られる。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合 計
	北杜市	33,886	<u>104,429</u>	<u>11,998</u>	25,000	20,000	<u>195,313</u>
	富士見町	644	1,267	1,171	50	884	4,016
	合 計	34,530	<u>105,696</u>	<u>13,169</u>	25,050	20,884	<u>199,329</u>
備 考	エリア内観光地整備含						

項 目	1. 産業振興 イ 農林水産振興の推進
取組内容	農林水産業の振興を図るため、圏域が連携し、安心・安全な農産物の生産拡大に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域に適した農業の推進に取り組むとともに、就農等に関する情報の共有を行う。

事業名	八ヶ岳定住自立圏就農支援連絡協議会						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>圏域において、これまで蓄積したノウハウを共有するため、有識者も交えた連絡協議会を設置し意見交換をする。これにより、担い手への営農支援の拡充を図る。</p> <p>また、新たな担い手として期待される新規就農希望者について、指向分野の相違などにより就農を諦める場合もある中、広域連携に基づいた情報共有を促進し、新規就農者営農支援を拡充する。</p>						
事業効果	<p>それぞれのノウハウや地理的条件の共有により、地域の新たな特産品の開発も想定され、担い手の経営の安定化にも繋がる。</p> <p>新規就農希望者に対しても、受け皿を拡大することで就農希望者の指向に合った支援も可能になるため、新規就農者の増加が図られるとともに、就農後の営農支援も充実され、新規就農者の定着が図られる。</p>						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合 計
	北杜市	150	50	149	150	150	649
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	150	50	149	150	150	649
備 考							

項 目	1. 産業振興 ウ 鳥獣害防止対策
取組内容	有害鳥獣による農林業被害を防止するため、圏域で連携し鳥獣害防止対策を総合的に進める。
関係市町村の役割	(ア)甲・乙と連携し、住民及び団体と連携を図りつつ、鳥獣害に関する情報交換等を実施する。 (イ)甲・乙と連携し、鳥獣害防止対策の調査研究を行うとともに、共同捕獲等を実施する。

事業名	鳥獣害防止対策合同会議						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	合同会議において情報交換等を行い、効率的かつ有効な鳥獣害対策を検討する。						
事業効果	農林業被害が減少し、地域の活性化が図られる。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合 計
	北杜市	100	0	0	100	100	300
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	100	0	0	100	100	300
備 考							

事業名	野生鳥獣共同捕獲事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	合同会議を基に圏域の猟友会と連携して、特定鳥獣の共同捕獲を実施する。						
事業効果	農林業被害が減少し、地域の活性化が図られる。						
導入可能な補助事業等	特定鳥獣適正管理事業						
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合計
	北杜市	1,590	<u>1,583</u>	<u>3,167</u>	200	200	<u>6,740</u>
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	1,590	<u>1,583</u>	<u>3,167</u>	200	200	<u>6,740</u>
備 考							

項 目	1. 産業振興 エ 地産地消・販路拡大の推進
取組内容	農林産物の消費拡大を図るため、道の駅・直売所等を活用し地産地消及び販路開拓を推進する。
関係市町村の役割	(ア) 甲・乙と連携し、住民及び団体等と連携を図りつつ、地産地消、情報発信等に関する情報交換等を実施する。 (イ) 甲・乙と連携し、道の駅・直売所等の相互交流により、地産地消及び販路開拓の推進に資する取組を実施する。

事業名	八ヶ岳定住自立圏農林産物販売連携会議						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域に存する道の駅・直売所の活性化を図るため、連携会議を開催し、特産品情報の共有・発信や食のイベントの共同開催等を通じて、相互連携を深めると共に新たな特産品のブランド化に取り組む。						
事業効果	特産品情報の共同発信により効果的な販路拡大が見込まれ、新たな特産品のブランド化にも繋がる。 また、各施設が連携した事業の検討及び実施が期待できる。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合 計
	北杜市	0	5	30	30	30	95
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	5	30	30	30	95
備 考							

項 目	2. 教育・文化 ア 図書館の相互利用等
取組内容	圏域住民の生涯学習の機会の充実を図るため、各図書館の相互利用等を促進する。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、各図書館の相互利用等を促進する。

事業名	図書館相互利用促進事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>圏域住民が、3市町村立図書館すべてにおいて利用カードを作り、貸出等のサービスを受けられることを10館において広く周知を行う。</p> <p>自館で所蔵していない資料については、相互貸借サービスにより、他館から借受けることができ、借受け館では利用者への費用負担を求めることなく利用者に貸し出しなどを行う。</p>						
事業効果	<p>居住地以外の図書館でも利用カードを作れることで、圏域内の図書館の利用を促進することができる。</p> <p>また、財源の確保が厳しい中、利用者の望む資料を圏域で協力して提供することができる。</p>						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合 計
	北杜市	30	5	30	30	30	125
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	30	5	30	30	30	125
備 考							

事業名	図書館連携事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>各図書館が、各館ごとに計画しているイベント等の情報を共有し、利用者に提供していく。</p> <p>期間を決め、共通のテーマに関する資料の展示を行う。また、この展示の期間にあわせ、各図書館ではテーマに沿ったイベントなどを行う。</p>						
事業効果	イベント情報の共有や共通テーマでの展示を行うことで、他の図書館への誘導を行うことができ、各図書館の利用促進につながる。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	0	0	0	0	0
備 考							

項 目	2. 教育・文化 イ 生涯学習の充実
取組内容	圏域内における芸術、文化、スポーツの振興を図るため、施設の相互利用やイベント情報の共有等に努め生涯学習の充実を図る。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域内の芸術、文化、スポーツ施設で開催されるイベント等の情報を発信するとともに、圏域内の住民、子供達がイベント等に参加できるような機会をつくる。

事業名	演劇鑑賞・体験交流促進事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>市内ホールにおける文化芸術事業を推進するため、圏域住民から要望の多い演劇の鑑賞や体験の機会を実現させ、演劇を圏域内に定着させる。</p> <p>また、地方で公演の場を求めている劇団を首都圏から誘致し、目の前で臨場感のある生の演劇（鑑賞）や、圏域住民の文化芸術活動の充実のため演劇のワークショップを実施し演劇への参加により、役者と圏域住民が一緒になって時間と空間を共有体験できる劇団の創出事業としての文化芸術事業を図る。</p> <p>さらに、演劇によって文化芸術や地域活性化を促進するため、複数の劇団が市内ホールで公演を行う「(仮称)演劇祭」を開催する。</p>						
事業効果	<p>質の高い演劇等を開催することで、圏域全体の交流人口の増加が期待できる。圏域住民に演劇の鑑賞や体験の機会が充実し、圏域全体の文化芸術の振興が図られる。また、「(仮称)演劇祭」の開催により、交流推進の創出につながる。</p>						
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合 計
	北杜市	1,510	944	3,000	29,000	9,000	43,454
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	1,510	944	3,000	29,000	9,000	43,454

事業名	大学等との連携による文化芸術創造事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>市内ホールが保有するそれぞれの特徴を強みとして、文化芸術活動を行う首都圏の大学や民間団体等の合宿誘致を図る。</p> <p>圏域内の宿泊施設に宿泊し、平日利用の少ないホールでの練習や活動の成果を披露する発表の場を提供するとともに、大学や民間団体等と連携し、その成果を圏域住民が鑑賞できる機会を創出する。</p>						
事業効果	<p>圏域住民の芸術鑑賞の機会が増加する。</p> <p>また、圏域内の宿泊施設での合宿を通じて、圏域住民との交流が生まれ将来の移住に繋がる。</p>						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合計
	北杜市	0	0	0	1,500	1,500	3,000
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	1,500	1,500	3,000
備考							

事業名	文化芸術鑑賞・体験機会提供事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>市内ホールで、圏域住民に一流の文化芸術の鑑賞会や、子育て世代を対象としたミュージカルや音楽会等の芸術事業を提供し、質の高い文化芸術に触れる機会の充実や相互交流を目的とした参加型事業を推進し圏域の活性化を図る。</p> <p>また、圏域の子どもを対象とした多彩な優れた芸術鑑賞や楽器演奏体験等、観て聴いて触れて感じる文化芸術事業の機会を提供し、子どもたちの情操教育の推進を図る。</p>						
事業効果	<p>圏域住民や子育て世代に、文化芸術事業や参加型事業を開催することで、圏域の芸術活動が活性化され、住んでみたいまち（圏域）のイメージアップにつながり、交流人口の増加が期待できる。</p> <p>また、圏域住民の一流の文化芸術を鑑賞する機会の充実や、圏域の子どもの情操教育が図られる。</p>						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合計
	北杜市	0	7,694	8,708	11,000	11,000	38,402
	富士見町	0	0	200	200	200	600
	原村	0	0	0	200	200	400
	合計	0	7,694	8,908	11,400	11,400	39,402
備考							

事業名	峡北スケート大会及びスケート教室開催事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>山梨県立八ヶ岳スケートセンターを会場に開催している峡北スケート大会に、圏域の小中学生、高校生を参加させることで、圏域における一流選手への登竜門的大会として開催する。</p> <p>また、トップアスリートによるスケート教室や親子スケート教室を開催し、県立八ヶ岳スケートセンターの利用者数アップに努める。</p>						
事業効果	圏域におけるスケート競技力の向上と指導者の資質向上や、交流人口の拡大が期待できる。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合計
	北杜市	390	558	707	707	707	3,069
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合計	390	558	707	707	707	3,069
備 考							

事業名	スポーツ鬼ごっこ大会開催事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>北杜市体育協会が主催するスポーツ鬼ごっこ大会に、圏域の小中学生の親子を参加させることで、スポーツの交流・親睦を図る。</p> <p>また、スポーツ鬼ごっこのような新しいスポーツ競技を、幅広く知ってもらうよう努める。</p>						
事業効果	<p>スポーツ鬼ごっこを通じて明るく元気で健康的な心身づくりが出来る。</p> <p>全身運動を通して基礎体力の向上が図られる。</p> <p>また、年齢性別に関係なく、運動が苦手な子ども、運動する機会のない子ども達も気軽に参加できる。</p>						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合計
	北杜市	0	51	36	36	36	159
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	51	36	36	36	159
備 考							

項 目	2. 教育・文化 ウ 文化財の保護、活用
取組内容	郷土の文化・伝統を守るため、連携して文化財の保護、活用を図る。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、文化財の保護、活用を図る。

事業名	資料館連携事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	縄文文化や棒道など、圏域にある文化財・郷土資料から選んだ共通のテーマの企画展を同時開催する。 併せて、スタンプラリー等を開催する。						
事業効果	圏域が共同で共通テーマの企画展を開催することで、全国に誇れる八ヶ岳山麓の歴史や文化をより効果的に発信でき、移住定住への関心を喚起できる。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合 計
	北杜市	0	603	<u>462</u>	429	429	<u>1,923</u>
	富士見町	0	129	<u>99</u>	90	90	<u>408</u>
	原 村	0	129	<u>99</u>	90	90	<u>408</u>
	合 計	0	861	<u>660</u>	609	609	<u>2,739</u>
備 考							

事業名	文化財を活用した地域活性化事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>文化財に関する情報を関係市町村で共有し、鍔絵等の修復・復元を行うなど、文化財を保護・継承しつつ、それを活用して地域活性化を推進する。</p> <p>鍔絵・裂織等の伝統工芸の体験教室や、圏域にある文化財を巡るバスツアーの開催など、文化財に関するイベント等を開催する。</p>						
事業効果	<p>圏域の文化財に直に触れる機会を提供することで、郷土の文化財・伝統の魅力を発信することができる。</p> <p>また、体験教室や文化財めぐり等のイベントを開催することにより、圏域住民との交流が促進され、定住・移住への関心を喚起できる。</p>						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	308	7,133	200	200	7,841
	合計	0	308	7,133	200	200	7,841
備 考							

2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

項 目	1. 地域公共交通 ア 地域公共交通のネットワーク化
取組内容	圏域内住民等の移動手段を確保するため、バス路線等の維持・確保対策に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域における公共交通の課題について調査、検証するとともに、バス路線等の維持・確保対策に取り組む。

事業名	圏域公共交通対策事業						
関係市町村	北杜市、富士見町						
事業概要	県境で接する北杜市と富士見町は、生活圏として交流がある。公共交通の課題について、調査、検証し、連携により圏域内の住民の移動手段を確保する。						
事業効果	圏域内の温泉施設やショッピングセンター、医療機関を相互に利用でき、圏域住民の利便性が向上する。						
導入可能な補助事業等	地域公共交通確保維持改善事業補助金						
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合 計
	北杜市	0	0	<u>15,000</u>	31,270	31,270	<u>77,540</u>
	富士見町	0	0	17,300	17,300	17,300	51,900
	合 計	0	0	<u>32,300</u>	48,570	48,570	<u>129,440</u>
備 考							

項 目	2. 圏域内外の住民との交流及び移住の促進 ア 結婚支援
取組内容	若者に出会いの機会を提供するため、圏域全体で結婚支援に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、結婚相談や出会いのパーティ等のイベントを開催するとともに、結婚支援の取組の調整を行う。

事業名	シンデレラエクスプレス運行事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	首都圏の独身女性が利用できる首都圏発八ヶ岳定住自立圏域行き直行バスを運行する。圏域内イベント開催時に運行し、直行バスを利用してイベントに参加してもらう。(婚活イベントの参加も予定) 対象者：登録した独身女性 利用料：無料						
事業効果	北杜市が定住促進計画策定の際に行った意向調査から、訪れた経験がより強い移住意向につながっていることがわかっている。圏域を訪れる機会を設けることで、移住意向者が増加する。また、婚活イベントとセットにし、首都圏の若い世代の女性と圏域内男性の出会いの場を提供できる。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合 計
	北杜市	0	880	1,062	3,750	3,750	9,442
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	880	1,062	3,750	3,750	9,442
備 考							

事業名	出会い（見合い）イベント開催事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	民間団体へ圏域内での出会いイベント開催を委託する。 対象者：圏域内男性優先						
事業効果	圏域内の男性に出会いの場を提供し、若い世代の結婚の希望をかなえる。 若い世代の成婚、定住につなげていく。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合計
	北杜市	0	100	100	100	100	400
	富士見町	0	100	100	100	100	400
	原 村	0	100	100	100	100	400
	合 計	0	300	300	300	300	1,200
備 考							

事業名	結婚相談員交流事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	3市町村の結婚相談員が意見交換など交流を深めることで情報共有し、出会い（見合い）の機会の増加を図る。						
事業効果	広域になることで、交流の範囲や出会いの場が広がる。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0
備 考							

項 目	2. 圏域内外の住民との交流及び移住の促進 イ 移住促進及び交流推進
取組内容	移住促進及び交流推進を図るため、三大都市圏を対象とした就労、住宅、空き家に関する情報の提供及び発信に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、事業実施のために必要となる情報の収集を行い、移住希望者に対応できる移住相談案内窓口等を設置する。

事 業 名	移住定住ワンストップ窓口設置事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>圏域内への移住定住の実現に向けての障害（課題）に対して、適切な助言及びサポート等を行うワンストップ窓口を設置する。</p> <p>また、圏域内の空き家バンクや各種助成制度（住宅取得支援）等の情報を集約・共有することで、相談者の利便性を向上させる。</p>						
事業効果	圏域全体の移住定住人口の増加が図られる。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合 計
	北杜市	0	2,259	<u>2,273</u>	3,000	3,000	<u>10,532</u>
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合計	0	2,259	<u>2,273</u>	3,000	3,000	<u>10,532</u>
備 考							

項 目	2. 圏域内外の住民との交流及び移住の促進 イ 移住促進及び交流推進
取組内容	圏域への定住を促進するため、経済的負担を軽減する支援に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、住宅取得に向けての支援制度を検討するとともに、圏域内における定住促進に取り組む。

事業名	住宅取得支援制度検討会議						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	既存の助成制度を基に、圏域で統一した制度構築に向けて検討する。						
事業効果	制度化された際には、圏域内に更なる定住人口の増加が見込める。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合 計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0
備 考							

項 目	3. 道路等の交通インフラの整備 ア 道路の整備
取組内容	圏域内の交流人口を増加させるため、圏域を横断する観光ルート等となりうる道路整備に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域内の観光振興や災害時の緊急道路として、圏域を横断する主要道路が十分機能するよう整備に取り組む。

事業名	広域幹線道路整備促進協議会						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域の交通インフラの整備に向け、主要となる幹線道路や圏域内周遊市町村道路の整備促進を図るため、各市町村担当者等で構成する連絡協議会を設立し、整備に向けた検討や県に対する要望等を行なう。						
事業効果	圏域を直結で結ぶ幹線道路である主要地方道茅野・北杜・葦崎線、県道富士見原・茅野線や圏域内を周遊する市町村道の整備促進を図ることにより、圏域内の繋がりがより一層強化され、特に観光案内拠点となる道の駅こぶちさわの機能や周遊ルートの充実が図られる。 また、災害時における緊急道路としての効果も発揮される。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合計
	北杜市	0	0	0	50	50	100
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	50	50	100
備 考							

事業名	主要道路整備事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内の交流促進や観光ルートとしての機能を有する路線として、中央自動車道の諏訪南 I C、小淵沢 I C を拠点に連結・周遊する市町村道について、維持補修工事、環境整備事業を実施するとともに、主要地方道茅野北杜葦崎線、県道富士見原茅野線についても事業を推進する。						
事業効果	主要観光ルート・連結周遊ルートの整備を進めることにより、通行の安心・安全の確保や利便性の向上が図られ、スムーズな人の流れや物流により、魅力ある環境づくりが図られる。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合計
	北杜市	10,886	<u>11,756</u>	<u>15,000</u>	9,000	9,000	<u>55,642</u>
	富士見町	9,029	<u>15,034</u>	<u>10,046</u>	9,000	9,000	<u>52,109</u>
	原 村	8,371	<u>86,184</u>	5,000	5,000	5,000	<u>109,555</u>
	合計	28,286	<u>112,974</u>	<u>30,046</u>	23,000	23,000	<u>217,306</u>
備 考							

3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

項 目	1. 圏域市町村職員の交流 ア 市町村間職員研修
取組内容	圏域内市町村職員の資質の向上及び圏域マネジメント能力の向上を図るため、合同研修を行う。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域内市町村職員が合同で参加することで効果が期待できる研修を企画し、実施する。

事業名	圏域市町村職員合同研修開催事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	定住自立圏で取り組む課題や圏域内の市町村で共通する課題をテーマとした、職員合同研修を開催する。						
事業効果	合同研修の開催により職員の資質や政策形成能力の向上を目指すとともに、八ヶ岳定住自立圏形成に対する意識・取組を共有することにより、多岐にわたる課題を解決する市町村職員相互のネットワーク基盤の構築が図られる。						
導入可能な補助事業等							
事業費（千円）	年度	H27	H28	H29	H30	H31	合 計
	北杜市	133	200	<u>200</u>	300	300	<u>1,133</u>
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	133	200	<u>200</u>	300	300	<u>1,133</u>
備 考							

第6章 定住自立圏における具体的取組の実施体制

定住自立圏における具体的取組を確実に進めていくためには、成果指標（KPI）の設定とその達成状況等を踏まえPDCAサイクルをまわしていくことが重要です。

このため、本ビジョンに掲げた個々の事業については、毎年度ごとにPDCAシート（別紙）を作成し、実績や効果を検証し、次年度以降の取組に反映させていきます。

また、政策分野ごとに主な成果指標（下表）を選定し、達成状況等について、「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会」において報告します。

※KPI…Key Performance Indicator の略。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標のことをいう。

政策分野	KPI 設定項目	成果指標（KPI）
生活機能の強化	産業振興 教育文化	● <u>宿泊者数</u> 基準値（H27） 1,163千人 KPI（H31） 1,251千人
		● <u>外国人宿泊者数</u> 基準値（H27） 84千人 KPI（H31） 103千人
		● <u>図書館相互利用貸し出し日数</u> 基準値（H27） — KPI（H31） 延べ900日
結びつきやネットワークの強化	圏域内外の住民との交流及び移住の促進	● <u>移住定住相談世帯数</u> (道の駅こぶちさわ案内所他、圏域相談会含む) 基準値（H27） 6世帯 KPI（H31） 50世帯
		● <u>イベント参加のカップル成立数</u> 基準値（H27） 0組 KPI（H31） 10組
圏域マネジメント能力の強化	圏域市町村職員の交流	● <u>研修実施回数</u> 基準値（H27） 1回 KPI（H31） 10回

(別紙)

八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン PDCAシート(第●回変更用)		担当課		
		担当		
P L A N	事業名			
	今年度実績(見込み)			
C H E C K	効果			
	今年度事業費	(千円)	補助金等	有()・無
A C T I O N	半年度事業計画(案)			
	半年度事業費	(千円)	補助金等	有()・無
P L A N	指標	基準値(H27)		KPI(H31)
		KPI設定根拠と検証方法		

(資料)

八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

(設置)

第1条 定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日付け総行応第39号総務事務次官通知）第6の規定に基づき、八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン（以下「共生ビジョン」という。）を策定及び変更することに伴い、広く関係者の意見を反映させるため、八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 懇談会は、共生ビジョンの策定又は変更に関する事項について検討する。

(組織)

第3条 懇談会の委員（以下「委員」という。）は、20人以内をもって組織する。

2 委員は、八ヶ岳定住自立圏の形成に関する協定書第3条に規定する取組内容に関連する分野を代表する者、その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員の再任は妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 懇談会に会長1人及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員が互選によりこれを定める。

3 会長は、懇談会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要に応じて招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 会議は、委員の過半数の出席をもって成立する。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(関係者の出席)

第7条 会長は、専門的な事項について必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 懇談会の庶務は、総務部地域課において処理する。

(その他)

第9条 この告示に定めるもののほか、懇談会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

平成28年度

番号	区分	氏名	所属団体	備考
1	観光振興	小林 昭治	八ヶ岳観光圏（八ヶ岳ツーリズムマネジメント）	
2	〃	桶本 隆男	北杜市観光協会	
3	〃	窪田 福美	富士見町観光協会	
4	〃	友枝康二郎	原村観光連盟	
5	農業振興	梶村 宗弘	北杜市農業振興公社	
6	〃	小林 元茂	富士見町農業委員会委員	
7	〃	小島 幸夫	原村農業委員会委員	
8	教育文化	清水 繁子	北杜市教育委員会委員	
9	〃	鈴木 清	富士見町教育委員会委員	
10	〃	鎌田 晴之	原村文化財調査委員会・歴史民俗資料館運営協議会	
11	公共交通	茅野光一郎	北杜市公共交通会議	
12	〃	名取 孝三	富士見町デマンド交通運行委員会	
13	結婚相談	清水 正隆	北杜市結婚相談員連絡協議会	
14	〃	小林 孝之	富士見町結婚相談所	
15	〃	五味 勇吉	原村民生児童委員協議会	
16	移住定住	長田 武人	北杜市空き家バンク協力会	
17	〃	井上 完一	県宅建協会富士見分会	
18	〃	永井 和人	原村田舎暮らし案内人	
19	学 識	内藤 信司	甲陵高等学校	
20	〃	武田 忠利	帝京第三高等学校	

八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会等審議経過

平成26年	7月14日	3市町村担当課長会議（総務省訪問）
	8月27日	3市町村担当課長会議（富士見町）
	10月3日	3市町村担当課長会議（富士見町）
	11月5日	定住自立圏に向けた3市町村長会議（富士見町）
	12月19日	中心市宣言（北杜市）
	12月25日	3市町村担当課長会議（富士見町）
平成27年	2月26日	3市町村担当課長会議（富士見町）
	3月30日	3市町村担当課長会議（富士見町）
	4月15日	3市町村担当課長会議（富士見町）
	5月1日	3市町村担当課長会議（富士見町）
	5月15日	3市町村担当課長会議（富士見町）
	5月26日	3市町村担当課長会議（富士見町）
	6月	八ヶ岳定住自立圏の形成に関する協定締結の市町村議会議決（北杜市・富士見町・原村）
	6月26日	3市町村担当課長会議（富士見町）
	7月1日	八ヶ岳定住自立圏の形成に関する協定締結合同調印式（北杜市）
	7月	3市町村担当課長・担当者（取組項目に係わる担当者）会議（北杜市・富士見町・原村）
	8月5日	3市町村担当課長会議（富士見町）
	8月12日	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会（北杜市）
	8月17日	3市町村担当課長会議（富士見町）
	8月31日	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン策定
平成28年	1月	3市町村担当課長・担当者（取組項目に係わる担当者）会議（北杜市・富士見町・原村）
	2月10日	3市町村担当課長会議（富士見町）
	3月1日	第2回八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会
	3月2日	3市町村担当課長会議（富士見町）
	3月7日	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン変更（第1回）
	4月14日	3市町村担当課長会議（北杜市・富士見町・原村）
	11月4日	3市町村担当課長会議（富士見町）

平成29年 1月17日 3市町村担当課長・担当者（取組項目に係わる担当者）会議（原村）
2月17日 平成28年度八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会
2月20日 3市町村担当課長会議（北杜市・富士見町・原村）
2月22日 八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン変更（第2回）

八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン

発行年月日 平成27年8月
平成28年3月（第1回変更）
平成29年2月（第2回変更）

発 行 北杜市 総務部 地域課
山梨県北杜市須玉町大豆生田 961-1
T E L 0551-42-1323
F A X 0551-42-1122